

様式

《川越総合高校の活性化・特色化方針》

(平成29年度～)

1 学校基本情報

課程	全日制	学科	総合学科	生徒数	(男)185 (女)536	計 721					
ホームページ	http://www.kawagoesogo-h.spec.ed.jp										
アクセス	JR川越駅から徒歩20分 西武新宿線本川越駅から徒歩15分 東武東上線川越市駅から徒歩20分										
教育課程等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・単位制の総合学科であり、普通教科と多様な専門教科を総合的に学習します。 ・1年次では、普通科目を中心とした基礎学力の定着とキャリア教育の充実を図ります。 ・多彩な選択科目を用意し、2年次からは進路や適性・興味・関心によって多くの科目を選択することで、一人ひとり自分の時間割をつくります。 										
活躍が顕著な部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・弓道部(第17回東日本高校弓道大会男子団体3位、第61回関東高校弓道大会女子団体出場) ・ソフトテニス部(H29新人戦県大会出場) ・野球部(第98回全国高校野球選手権埼玉大会4回戦進出) ・女子バレーボール部(H29高校総体県予選出場) 										
特色ある学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の共同実験実習(1泊2日) ・東日本大震災復興支援ボランティア ・川総祭(模擬店など企画多数) ・体育祭(応援合戦、騎馬戦、棒引き) 										
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・三者面談(6月) ・学年毎の保護者会 ・PTA研修会 ・地区自治会との交流 ・農産物販売会(校内、地元百貨店との連携) ・地元中学校を招いた理科授業 ・里山音楽祭(大学との連携) ・里山保全活動(NPO法人、卒業生との連携) 										
進路	状況	四大	41人	短大	43人	専門	97人	就職	48人	その他	12人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、四大・短大・専門学校、就職の割合は同じような傾向。なお、四大・短大への受験は、指定校利用の割合が減り、公募制・A0入試の利用割合が増加傾向にある。 ・就職は、製造・販売・事務・サービスなど多方面にわたる。 ・在学中に学んだ専門分野を生かせる進路先を目指す者が多い。 									

(※生徒数：H30.5.1現在、進路はH30.3卒業生の実績値)

本校の魅力!

- ・自分には何が向いているか?
 - ・自分の得意なものは何か?
 - ・自分には何ができるのか?
- 自分を発見し、個性を伸ばし、進路を確かなものにします。

- ・多彩な選択科目と一人ひとりの進路に合わせた自分だけの時間割編成。
- ・少人数授業でわかりやすく学び知識・技術を確実に身に付けます。
- ・農業や家庭科を通して生命や食の大切さを学び、感性を磨く中で人間力を高めます。
- ・自信を持ちスキルアップを図るため、様々な検定や資格取得に取り組めます。



(キャラクターデザイン) (QRコード)HPトップへ



(授業「温室野菜」)



(授業「調理」)

在校生からのメッセージ

「自分だけの時間割」を通じて、未知の世界を知る楽しさを見出すこと。これこそが、川総の一番の魅力。皆さんも、川越総合高校で新たな発見に出会い、夢を描き、自分の可能性を磨いてみませんか!?

(川越市立東中出身 T.A)

2 入学者選抜情報

<本校が求める生徒>

本校の総合学科の特徴を良く理解している人 ⇒ {

- ・夢や希望を持ち、果敢にチャレンジできる生徒
- ・主体性、協働性を持ち、素直で明るい生徒

<入学者選抜のポイント> (平成31年度入学者選抜基準より)

- ・学力検査と調査書の記録については、第1次選抜では同等に扱うが、第2次選抜では調査書を重視します。
- ・面接を実施し、受検生の目的意識や学習意欲等を評価します。
- ・調査書の「特別活動等の記録」において、生徒会活動・部活動などに積極的に取り組んだ者の選抜に配慮します。

川越総合高校

～生徒の成長物語～



- ・夢の実現
- ・社会で役立つ人材
- ・生徒全員の進路実現

生き方を考え、
未来を拓く

- ◇ 様々な施設設備を利用し、体験を重視した学習
- ◇ 生徒が主体となり行われる様々な活動
- ◇ 落ち着いた周辺環境の中で行われる地域貢献活動

3
年
次
生

- ・多彩な選択科目の充実
- ・適性や興味・関心の伸長及び人間力の育成
- ・課題解決型学習の充実
- ・各学校行事への中心的な役割
- ・希望進路への取り組み

2
年
次
生

- ・多彩な選択科目の設定（普通科目・専門科目）
- ・適性や興味・関心をもとに、進路にあった学習が可能
- ・自分自身の時間割作成が可能
- ・選択の目安となる6つの系列（農業科学、食品科学、生命科学、環境創造、生物活用、生活デザイン）の設定
- ・修学旅行、文化祭、体育祭などの学校行事への積極的な参加

1
年
次
生

- ・少人数クラス編成による着実な知識技術の定着
- ・基礎・基本を重視したクラス別授業
- ・科目「産業社会と人間」「総合実習」を通じたキャリア教育の充実
- ・共同実験実習、遠足などを通じた集団生活への適応及び基本的生活習慣の確立

思考・判断・表現力等
（知っていること、できることをどう使うか）

個別の知識や技能
（何を知っているか）

学びに向かう力・人間性等
（どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか）

学力の3要素（社会で自立して活動していくために必要な力）

実践教育の充実

地域や産業界との連携

NPO との連携

活気ある部活動

高大連携

東日本復興支援ボランティア

FFJ 活動

PTA 活動
挨拶運動

中学

- 自分には何が向いているのだろうか？
- 将来どのような進路を目指せばいいのか？
- 自分の可能性を信じ、いろいろなことにチャレンジしたい
- 一人の人間として社会に貢献したい

